

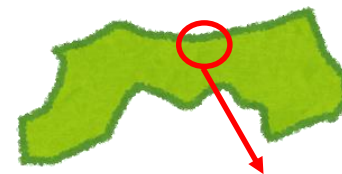
取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 北栄町農業再生協議会
 対象品目 : 施設野菜 (こまつな、ちんげんさい)
 (産地面積:20.49ha)
 主な取組主体 : 鳥取中央農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプ、被覆資材等)
 状況

ポイント

葉物類 (こまつな、ちんげんさい) 栽培に鳥取型低コストハウスを導入し、高収益な施設園芸の規模拡大により、意欲ある農業者の経営安定と、施設園芸の産地発展に資する。

地区の概要



鳥取県北栄町、倉吉市、湯梨浜町
 JA鳥取中央管内(北栄町、倉吉市、湯梨浜町、三朝町、琴浦町)地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

施設面積 : 8.75ha
 販売額 : 122,201千円

〈目標:H31年度〉

施設面積 : 13.41ha
 販売額 : 296,511千円



鳥取型低コストハウス

推進体制

地域の関係者 (鳥取県、倉吉市、北栄町、湯梨浜町、鳥取中央農業協同組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○県、市町、JA等で連携し、作業効率の改善や栽培技術の確立により収益性の向上を図り、新たな葉物類産地を育成。

〈県・市町村単独事業〉

○「鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業」、「園芸産地活力増進事業」と連携して、施設園芸を加速的かつ戦略的に生産拡大。

事業効果

~新たな産出額1億円品目を目指して~

- 葉物類 (こまつな、ちんげんさい) 栽培の施設化により、増収及び品質が向上。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、葉物類 (こまつな、ちんげんさい) の産地強化を実現。
- 鳥取県農業活力増進プラン目標指標である産出額1億円以上の新規品目として有望化。

